

今日の授業を聞いて

富田健一郎

お話を聞きながら、

かたくなな壁を、外から大きな力で壊すのではなく、

するりと懐に入ったり、そっと、豆まきのように「種」を植えたり、

つながりの中で生まれた炎が、大きな流れになったり、

切られた事に気付かないくらい鋭い刃で切っていたり。

その瞬間の積み重ねを、見ているようでした。

思いがけなく、秋山正子代表の「在宅ケアの不思議な力」という言葉を宣伝くださり、ありがとうございました。

私自身様々なお宅を訪問しながら、「家の力」に助けられていると感ずることがあります。

病院や施設と比べ、設備が整っているとは決して言い難い環境の中でも「豊かな時間」が持てる、そして、色々ありながらもそこに関わらせていただける幸せを感じながら働いております。

4年前から毎回レポートが手元に残っているので、今一度最初の頃の物を読み返してみようという気持になりました。